



ふじみ自然塾 だより

2018.7.23

第15-2号

発行；富士見市民大学
ふじみ自然塾
編集；同 企画運営スタッフ
発行日；不定期

1. 第3回講座(合同講座) 講演会

7月14日の第3回講座は、特別研修コースとの合同講座とし、13:30~16:00に鶴瀬公民館第3集会室で、nicoの会会長の関野幸生氏に「タネからはじまる無肥料自然栽培～自家採種と連作で作物の生命力と土の偉力を最大限に活かす！～」というテーマでの講演をしていただいた。

講演は、先ず、自己紹介に始まり、無肥料自然栽培への取り組みについて話された。続いて、光合成と有機物、アンモニア・硝酸態窒素・アミノ酸と窒素固定細菌などの話、それらと植物の生育についての話があっ



写真①；講演会

た。自家採種と連作によって野菜が環境に適応して、無施肥でも作物が育つとの由。また、無肥料自然栽培における適切な手入れ方法などの説明があった。

後半は、スライドを用いて、無肥料自然栽培で育った作物と手入れ方法を説明していただいた。さらに、昨年からの取り組んだ手製のセラミック浄水器と濾過水の作物に与える効能について説明があった。

講演後は、実習農場で収穫し、ゆでた枝豆を賞味し、お茶を飲みながら、Q&Aと懇談を行った。話が盛り上がり、17:00を過ぎ、スタッフの「時間なので続きは来週の見学会後に」との声で、やっと終了した。



写真②；懇談会

2. 第4回講座(合同講座) 関野農園見学会

7月21日13:30~15:50に特別研修コースと合同で、関野農園の見学会を実施した。連日TVでは「熱中症で死者」のニュースや「生命にかかわる危険な暑さ」の天気予報。集合場所の関沢集会所では、参加者には十分に注意し、農園での見学時間は最短とし木陰で質疑を行うことを申し合せ、農園へ向かう。

最初の畑では、オクラ・トマト・エゴマ・ナス・キュウリ・ズッキーニなどの栽培状況を見学。暑さと乾燥のため、全般的に元気がないように感じた。

さらに、別の畑へ移動し、ジャガ芋・マクワウリ・地這いキュウリ・トウモロコシ・鷹の爪・バジル・ゴマ・人参などを見学。ここでは、多くの元気な作物があったが、地這いキュウリのように定植・活着後に乾燥のため茶色くなったものもあり、この夏の厳しさを感じた。

その後、先生の自宅敷地内の木陰でQ&A。さらに、講演会で話題となったセラミック浄水器の見学。自家採



写真③；見学会

種場、蜜蜂の巣箱、採種作業場や種の保管状況なども見学させていただいた。さらには、先週の懇談会の話の続きなども。

見学会後、トマト・ナス・バジルなどを直売していただき、お土産を手に、皆笑顔で帰っていった。